

# 「総務省北陸総合通信局長賞」を受賞した富山県立砺波高等学校に表彰状等を贈呈

～ 2026年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」～

総務省北陸総合通信局（局長 安東 高德）は令和8年6月3日（水）、2026年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」募集において、北陸3県から学校部門に応募があった作品のうち「総務省北陸総合通信局長賞」を受賞した富山県立砺波高等学校を訪問し、表彰状と副賞を贈呈しました。

【受賞作品】

その言葉 「バズる」「燃える」は 紙一重



総務大臣賞  
スマホより 前と未来を見て歩こう  
AIを見定めるのはひとのEYE  
北陸総合通信局長賞  
その言葉「バズる」「燃える」は紙一重  
協働会長賞  
通学路 歩きスマホがとおせんぼ  
PTA賞  
スマホも熱もフル充電  
ネット社会の健全な発展を促す特別賞  
企業賞

標語の作成は、情報の授業の一環として取り組まれたもので、現在の高校3年生全員がAIを使わずに一人一作品考案し、その中から生徒自らの投票でクラス代表、クラス代表の中から学校代表が決められました。

同校の辻ゆかり校長は「この標語の取組を通して、インターネットやSNSの使い方を立ち止まって改めて考える良い機会を得られた。受賞作品は、生徒が日常的に使っているからこそその言葉を使った表現であり、今回の受賞を励みに学校全体の情報モラル活動に繋げていきたい」と述べました。

今年度の標語は、令和7年12月1日から令和8年2月28日まで募集し、全国から個人部門で28,357点、学校部門で371点の応募がありました。

北陸総合通信局では、今後、受賞作品が掲載されたポスターによる広報・啓発活動を実施するとともに、官民連携による意識啓発プロジェクト「DIGITAL POSITIVE ACTION」への参画をはじめ、青少年がインターネットを安心・安全に利用できる環境の整備に、引き続き取り組んでまいります。



富山県立砺波高等学校 辻校長（左）へ表彰状を授与



辻校長 安東局長

2026年度 標語による啓発ポスター

## ○情報通信の安心安全な利用のための標語

子どもたちの情報モラルやICTリテラシー向上、児童生徒が学び考えるためのきっかけづくり、更には、情報通信利用者が情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の醸成を図ることを目的に、情報通信における安心安全推進協議会が平成20年度から標語を公募し、受賞作品を用いた啓発活動を行っているものです。

お問い合わせ先 情報通信部電気通信事業課  
076-233-4422